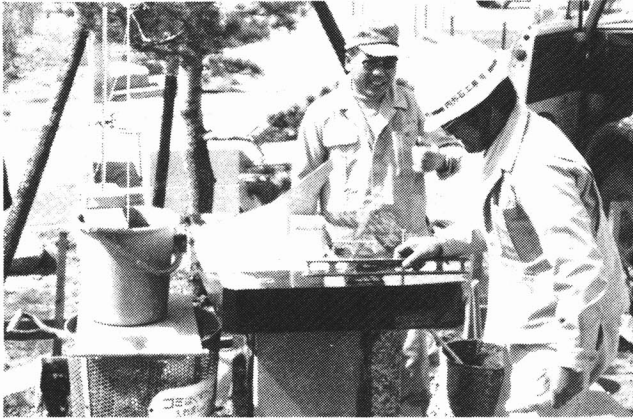


〈目でみる資料〉

水平型日時計

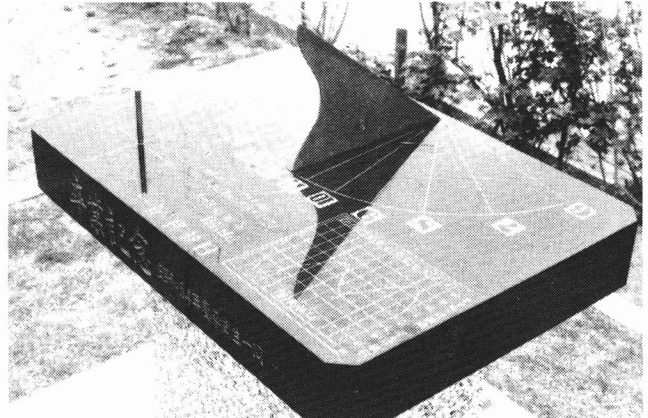
写真提供：福島市立鎌田小学校



日時計を正しく設置するため、真の南北方向を求める作業

(太陽の南中時の日影の利用)

均時差曲線を刻みこんだ
水平型日時計の目盛板
(900×650)



側面の写真 高さ：870

水平型日時計の製作手順

- 設置場所の緯度・経度を求める。
- 真の南北線の決定

('80天体観測ガイド：福島県教育センター
編を参照)

- 設置場所の緯度・経度がわかれば当教育センターのコンピューターで日時計の目盛が計算されます。